

検査・測定と評価 II

科目ナンバリング SPS-308

選択 2単位

佐保 泰明・武末 大蔵

1. 授業の概要(ねらい)

アスレティックトレーナーに必要な検査・測定・評価の理論、スポーツ基本動作のバイオメカニクスとその動作を評価する視点を学ぶ。また、基本的な静的・動的アライメント、各部位のアライメント、関節可動域測定、徒手筋力検査、筋タイトネス、整形外科的テストを実施できるようにする。

2. 授業の到達目標

- ・アスレティックトレーナーに必要な検査・測定・評価を説明できる。
- ・スポーツ基本動作をバイオメカニクスの視点から説明でき、評価することができる。
- ・静的・動的アライメント、各部位のアライメント、関節可動域測定、徒手筋力検査、筋タイトネス、整形外科的テストを実施できる。

3. 成績評価の方法および基準

課題20%、筆記試験20%で評価する。

4. 教科書・参考文献

教科書

日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナーテキスト⑤検査・測定と評価

参考文献

Dale Avers 新・徒手筋力検査法 原著第10版 協同医書出版

Starkey C, Brown SD. Examination of orthopedic and athletic injuries. 4th ed. FA Davis Company

Prentice WE. Principles of athletic training: a guide to evidence-based clinical practice. 16th ed.

McGraw Hill Education

Magee DJ.著

陶山哲夫ら監訳 運動器リハビリテーションの機能評価 I・II エルゼルビアジャパン

Jacquelin Perry原著

武田功 統括監訳 ベリー歩行分析 正常歩行と異常歩行 原著第2版 医歯薬出版株式会社

5. 準備学修の内容

次回の授業で行う検査・測定・評価項目について提示するのでレポートにまとめること。

6. その他履修上の注意事項

検査・測定と評価 I、バイオメカニクス I・II、アスレティックリハビリテーション概論を履修していることが望ましい。

7. 授業内容

- 【第1回】 ガイダンス・オリエンテーション
アスレティックトレーナーに必要な評価について学ぶ
- 【第2回】 姿勢・アライメント評価について学ぶ
- 【第3回】 部位別アライメント評価について学ぶ
- 【第4回】 関節可動域の測定方法について学ぶ(上肢・体幹)
- 【第5回】 関節可動域の測定方法について学ぶ(下肢)
- 【第6回】 徒手筋力検査法について学ぶ(上肢・体幹)
- 【第7回】 徒手筋力検査法について学ぶ(下肢)
- 【第8回】 タイトネスと関節弛緩について学ぶ
- 【第9回】 スポーツ動作の観察と分析について学ぶ(歩行・走行)
- 【第10回】 スポーツ動作の観察と分析について学ぶ(方向転換動作・跳動作)
- 【第11回】 スポーツ動作の観察と分析について学ぶ(投動作・あたり動作)
- 【第12回】 動作とスポーツ外傷・障害の関連について学ぶ
- 【第13回】 整形外科的テスト(上肢・頭頸部・体幹)について学ぶ
- 【第14回】 整形外科的テスト(下肢)について学ぶ
- 【第15回】 まとめと試験